

# 大阪府市場だより

第276号

(平成27年2月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会  
茨木市宮島1-1-1  
TEL (072) 636-3698  
FAX (072) 636-3699  
MAIL: 36983699@  
iaa.itkeeper.ne.jp



絵:「キウイ」 磯野 由美 (磯丸運送)

## 競争力強化研究会の最終報告を承認 定例常駐代表者会議

府市場の定例常駐代表者会議が2月19日午前9時30分から管理棟会議室で開催された。山口秀雄議長(府水産物卸協同組合理事長)の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、競争力強化研究会最終報告について木場府次長から説明があった。研究会は卸売業者・仲卸組合・北部冷蔵・管理センター・開設者で構成。川上、川下から「選ばれる市場」の実現に向け、場内関係者のニーズ調査や経営展望等で位置づけられている項目をあわせ、効果的かつ具体的な方策を検討するとともに、優先順位づけを行い、27年度の実施メニューを明確化した。コールドチェーン関連では、青果2階ブラットホームの大屋根折板増築工事や仲卸棟の電気容量の確保、災害時における冷蔵庫等の電源確保など、コールドチェーン以外では耐震改修工事(水産棟・管理棟分)やすべて(28カ所)のトイレ改修など多岐にわたっている。また、工事費は、26年度5億円規模だったものが27年度10億円を計画し、青果2階大屋根整備など一部工事は、府からの依頼による管理センターの実施を考慮しているとの説明があった。質疑のあと、予算の内訳などの資料を次回会議に提出されることになった。

議題2、管理センターの宮前統括から2頁のとおり報告があった。山口議長から、「水産大通り舗装修繕工事は、来年度予定で

あったが今期中に完成したい、工事方法などについて調整したいので協力を、また今後せり場の床面舗装修繕工事もあるので、パレットを引き出すことのないよう注意喚起をお願いしたい」と述べられた。

前田大果支社長から、トイレの不審者の話があり、山口議長から、「警察に通報、被害届の提出や巡回をしてもらうことになったが、トイレの前に防犯カメラの不審者写真を貼り、防犯につとめている」と述べられた。

議題3、事務局から各部会の活動状況が報告された。

議題4、その他の①災害発生時において優先的に取り組むべき業務を予め決めるBCP(業務継続計画)について、木場府次長から各社・団体に作成してもらったことの報告があった。防災訓練時には各社・団体のものを配布し、周知徹底すると説明された。



②(株)府食品流通センター株式公募売却先について、西谷社長から泉北高速鉄道(株)に決まり、府との間に株式譲渡の仮契約が締結され、府議会で株式譲渡の議案が承認されれば、4月に株式譲渡の予定との説明があった。最後に、山形府市場長から「来年度も競争力強化研究会を開催するので協力をお願いしたい」と述べられた。

# 経営展望の進捗状況を高く評価

## 府市場運営取引業務協議会

府中央卸売市場は、2月16日午後2時30分から府中央卸売市場運営取引業務協議会（会長・檜原正澄関西大学教授）を、ホテルプリムローズ大阪（大阪市中央区）において開催し、経営展望の25年度の進捗状況と指定管理者の活動等について審議された。



晴久府環境農林水産部長が、「場内事業者や指定管理者のご尽力で、これまで減少傾向であった取扱金額と数量がともに反転しており、ご努力に感謝している」と挨拶。次に、木場府市場次長から、経営展望の進捗状況を説明。「サイン塔の整備や市場ゆるキャラの制作・運営など、全32項目のうち顕著な成果を上げているものは7項目に及び、その他の殆どの項目も成果を上げている。とりわけ指定管理者

# 府が全項目で優良・良好と評価

## 指定管理者評価委員会を開催

府市場における指定管理者の業務の実施状況等を評価する大阪府中央卸売市場指定管理者評価委員会（委員長・津田盛之氏。公認会計士、弁護士、卸売市場流通の専門家等4名で構成）は、1月26日に大阪市内で、平成26年度の委員会を開催し、府の評価等に対して調査・審議を行った。この席上、指定管理者の業務執行状況について、指定管理者の自己評価と委託者の大阪府の評価が示され、指定管理者と府の評価は、すべて同じで、サービスの向上と財政基盤の安定性の2項目が最高評価の優良とされ、その他の9項



目も全て良好評価であると報告された。委員からは、「市場設備のロードチェン化の取組みを推進すべき」との意見があり、府から「競争力強化研究会を設置して項目出しを行い、優先順位の高いものを来年度から実施する」との説明があった。また、指定管理者の活用範囲の拡大を図り、施設改修を推進してはどうかとの意見があり、府からこれまでの実績を踏まえて対応したいとの回答があった。今後、これらの意見踏まえ、府で対応方針を策定し、指定管理者が27年度事業計画に反映する。

の頑張りにも負うところが大きいことが報告された。消費者委員から指定管理によるデメリットはないのかの質問に対し、市場事業者委員から「デメリットは何一つない、迅速な事業執行や予算の効率化など100%メリットだ」との回答があった。

次に、市場の競争力強化のための取組みメニューを場内関係者で組織する「競争力強化研究会」の検討した最終報告が説明され、来年度に青果2階プラットホームに大屋根折板増築工事の実施やトイレ改修の残り28ヶ所を完了することなどが説明された。

# 全中協理事會 茨木市で開催

## 指定管理の成果を講演

全国の中央卸売市場の開設者で構成する全中協「全国中央卸売市場協会の26年度第3回理事會（2都府・13市）」が、府市場（山地英彦場長）の担当で、茨木市で開催された。議題は、「28年度以降の市場休場日設定方針」や「シラス干しへのフグの稚魚混入」問題などが協議されたあと、中央市場としては全国で初



めて指定管理者制度を導入した府市場の現状について、府市場管理センター（株）の宮前茂統括が講演した。制度導入の経過から、会社の活動、財政状況や導入効果など多岐にわたるもので、開設者の大きな関心を呼んでいた。また翌朝には府市場を視察した後、関西国際空港で農産物の輸出をテーマに視察研修が行われた。

のこれまでの取組みにより、事業者の効率的で迅速であることとを示していただいたので、これまで府で実施していたものを指定管理者にお願いすることになった。青果の大屋根工事もその例であり、府としても指定管理者の協力をいただきながら、競争力強化のための環境づくりに努力していきたい」との話があった。

# 管理センターからの報告(要旨)

- ◆最近の動向
  - 指定管理者評価委員会11項目の業務の評価↓すべて高い評価○府市場運営取引業務協議会（審議会）↓管理C業務の一層の充実拡大を■全中協理事會での講演H27年度事業計画↓精査中（次回常駐会議で）
  - 事業進捗状況■活性化事業○府予算の倍1億1000万円執行予定○ゆるきや「せりちゃん」販促・広報活動・ダイエー市場まつり（1/17）○市場見学者・小学校24校、2262人【前年比281人増】・その他各種団体等15団体、482人【前年比141人増】○お魚料理教室（8回）【前年比4回増】■修繕事業○243件、5800万円執行予定○工事中の事業（3月末完成）・青果立体駐車場A梁、階段塗装工事・青果仲卸棟外側H鋼梁塗装工事・青果卸棟A1、A4コア中2階トイレ改修工事（4か所）○工事予定の事業・管理棟正門出入口庇修繕工事（2月下旬）・青果関連店舗西側歩道植栽修繕工事（3月上旬）・青果立体駐車場A西側歩道植栽修繕工事（3月上旬）・水産大通り舗装修繕工事（3月下旬）■改修事業（大阪府の代行事業、燃料電池導入による財源充当）○水産棟東系統動力幹線改修工事（6480万円）（3/31）
  - 不法投棄の防止徹底○7月133件が1月40件へ○防犯カメラによる投棄者の特定↓即警察へ通報、告発○防犯カメラの増設（死角エリア）■廃棄物の増加○一般廃棄物4.1月対前年比15.8トン増↓りんご木箱を産地へ○青果屑（9月以降急増）9.1月対前年比12.2トン増（処理費260万円増）↓場外からの持ち込み抑制○段ボール箱に梱包したままの野菜の投棄（Dごみ置場）↓受入拒否、業者名の公表

# 府市場と大阪新阪急ホテル

## 「毎前線」産地リレー「スイーツ」を発売!

全国初の試みとして、大阪新阪急ホテルと府市場が共同で企画したこのスイーツは、ホテル開業50周年記念イベントの一環として発売され、府市場お薦めの西日本産の苺をたっぷりと使用し、時期によって最適な品種と産地を使い分けるという「産地リレー」スイーツ方式で提供されるとのこと、ぜひご賞味を!

- ①とき…2月1日(日)～4月30日(木)
- ②ところ…大阪新阪急ホテル1階ラウンジ



「ブリアン」・ロビーラウンジ「サントル」③名称…ストロベリーヒルズ④内容…カスタードクリームと苺のソースが入った小さな5つのシューの上に、苺を4粒あしらっている。

府市場の協力により、6種類の苺の産地(ゆめのか、長崎県、あまおう、福岡県、紅ほっぺ、熊本県、さがほのか、佐賀県、さちのか、徳島県、女峰、香川県)を、およそ2週間ごとに「リレー」、苺の風味の違いが楽しめるスイーツになっている。

(協力) 大阪府市場管理センター(株)、大阪北部中央青果(株)、大果大阪青果(株)北部支社

# 食品中の放射性物質について

## 食品衛生検査所

### 衛 検査 だより

平成23年の東日本大震災に伴って発生した原発事故は、放射性物質による環境汚染という重大な事態をもたらし、地域の農林水産業にも大きな打撃を与えました。それから約4年が経過し、復興をめざした、生産、出荷、流通、販売に関わる皆さんの官民合わせた懸命な努力が続き、着実な成果を上げつつあります。

食品中の放射性物質については、平成24年に当初の暫定基準より厳しい現行基準(一般食品について、放射性セシウム100Bq/kg)が適用されています。検査は、政府(原子力災害対策本部)が定めたガイドラインに基づき、自治体が検査計画をたてて実施しています。基準値を超える食品は、食品衛生法に基づく回収や廃棄の対象となり、また、それが地域的な広がりを持つ場合には、政府(原子力災害対策本部)が、原子力災害対策特別措置法に基づき、地域、品目を

# 人権研修会を開催

大阪府中央卸売市場と府中央卸売市場協会は、2月6日午後12時30分から管理棟大会議室で、「最近話題になっている人権問題」をテーマに、人権問題研修会を開催し、40名が参加した。

講師は、大阪企業人権協議会の野崎勝彦さんで、「ヘイトスピーチ問題」と法改正を中心にした「障がい者問題」について講演した。

「ヘイトスピーチ問題では、差別は、まず言葉の攻撃である『誹謗』侮辱というヘイトスピーチ、第二段階で『忌避』(近づかない、避ける等)、第三段階で『排除』、第四段階で『隔離』、第五段階で『身体的攻撃』、そして『絶滅』、ナチスのホロコースト、ジェノサイドへと続くといったことや、昨年12月にはヘイトスピーチの違法性を最高裁が認めたことなどが説明された。次に、「在日」についての歴史的背景

指定して出荷制限指示を行います。

消費地の自治体等において、適切な検査の実施とその結果の公表は、消費者の不安を払しょくし、風評被害等を防止するのに有効です。大阪府でも、流通品、市販品等について、各保健所と市場検査所、食肉衛生検査所などで抜き取り検査を実施しています。対象品は、過去に出荷規制や自粛がかけられた地域で生産された品目等を優先して行っています。また、検査要望の多い学校給食とその食材等についても検査を実施しています。

の説明の後、今後の展望としては国際結婚、高齢者の死亡、国籍法の改正(父系血統主義)父母血統主義により毎年減少し続けていること、また「在日特権」といったものは存在しないことなどの解説があった。

「障がい者問題」では、昨年1月に障害者権利条約が批准されたことがもたらした、障がい者差別解消法が2016年4月に施行されることになっており、直接的な差別だけでなく、障害者の権利確保のために必要で適当な調整等を行わないという「合理的配慮の否定」も含まれることが明確に示されていることなどが説明された。出席者は熱心に講演に聞き入っていた。



# 安全運転講習会を開催

市場協会安全部会(部会長・東野達雄府青果卸売協同組合理事長)では、1月22日(木)、管理棟会議室で、茨木警察署交通課職員を講師に安全運転講習会を開催し、37名が参加した。

冒頭、東野部会長から、「市場内の昨年の交通事故件数は83件と多くの事故が発生している。この機会に、交通安全を再確認してほしい」との挨拶があった。

講師から茨木警察署管内の事故件数が府内65警察署のうちワースト1で、高槻警察署管内がワースト2となっており、事故件数が多い地域になっていること、そして事故件数の75%が交差点内の事故で、交差点に入るとき、出るときに特に注意して欲しいとの説明があった。

また、昨年5月に、「自動車運転死傷行為処罰法」が施行され、飲酒運転や無免許運転など悪質な運転で事故を起こした場合の刑罰が重くなったことの説明があった。参加者は交通安全を肝に銘じていた。



# 一日お魚料理教室が好評!

大阪府水産物卸協同組合（山口秀雄理事長）は、2月13日に茨木市畑田コミュニティセンターで、今年度8回目の「二日お魚料理教室」を開催した。



茨木市立春日小学校のPTA有志による家庭教育委員会の約30名の主婦を対象に、同組合販売委員会の長尾委員長、井上氏、糟野氏のほか卸会社の榎うおいち、榎大水の皆さんが講師陣となり、府市場の活性化対策として生鮮食料品の消費拡大や食育事業に取り組む府市場管理センター（株）と府市場

も協力して実施されたもの。はじめに、長尾委員長が鯛とアジの3枚下ろしやスルメイカの新鮮さの見分け方と皮のむき方を具体的に説明。次に、参加者が6つのグループに分かれて、アジを3枚におろしてカレーミエルに。スルメイカも油で炒めて、プロが捌いたかんぱちとサーモンの造りとも舌鼓を打った。参加者からは貴重な機会を提供いただいた感謝の声とともに、魚の料理が楽しみになったといった声も聞かれた。



# 今年も早々に市場見学

府中央卸売市場管理センター（株）では市場見学を希望する団体に市場見学を実施して、人気を呼んでいる。今年に入って初めての見学が、1月20日に、高槻市の小学校から104名の来場があった。



小学生の皆さんは、熱心に案内の説明に聞き入っていた。特に水産仲卸店舗では、拓新水産（株）の杉江社長から、お魚の説明を受け、触らせてもらって、初めての感触に驚きの目を向けていた。

# 春夏用加工食品展示会が賑わう

水産卸の榎うおいちと榎大水の両北部支社は、2月7日に水産棟の各社の会議室において、春夏用の煉製品加工食品などの商材展示会を開催した。



展示会には、併せて約310社のメーカーが揚げかまぼこを中心とし、約3500アイテムの煉製品、麺、和菓子、和惣菜、中華惣菜や塩干品などを展示。中に



仲卸や量販店の担当者などが多く来場し、所狭しと並ぶ商品の前で、商談を行っている人たちがいた。

## 府食品流通センターの株式

### 泉北高速鉄道に売却へ

大阪府は、2月3日、府中央卸売市場に隣接の加工団地を運営する（株）府食品流通センター株式売却の優先交渉権者を、泉北高速鉄道（株）に選定したと発表し、2月12日に優先交渉権者と株式売却にかかる仮契約書を締結した。選定理由は、加工食品の流通拠点としての機能維持を図りながら、さらなる食品流通機能の強化を図ることができるとによる。今後、2月定例府議会に提案された株式譲渡議案が承認されれば4月から完全民営化となる。

## ボウリング大会

3月6日（金）開催

市場協会福利厚生部会（部長・三木博司大阪北部中央青果（株）社長）では、1月30日に協会会議室でボウリング実行委員会を開催し、第30回大会の開催要領を決定した。昨年と異なる点は、開催場所を交通の便のよい阪急茨



木市駅最寄の「バスターボウル」に変更したことや貸靴料を無料にするなど工夫を凝らした。多くの方の参加を呼びかけている。

## 流通状況調査結果を発表

府中央卸売市場では、昨年10月4日を調査対象日とした市場取扱品流通状況調査結果を発表した。

数量ベースの地域別搬出状況は、供給圏（三島・豊能・北河内・大阪市の一部・東大阪市）が39.6%で、前年比12.3%増加し、供給圏以外の大阪府は14.3%で▲1.71%の微減。他府県は46.0%で▲10.7%の減少。（兵庫県18.4% ▲0.3%、京都府13.4% ▲4.6%、奈良県3.3% ▲0.6%、滋賀県2.0% ▲16.7%、その他の県8.9% ▲11.1%）

卸売業種名	種類	数量(トン)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果	野菜	10,559	94.9	2,260,730	96.7
	果実	4,413	98.7	1,486,529	108.6
	小計	14,972	96.0	3,747,259	101.0
水産物	生鮮水産物	1,887	98.8	1,757,768	109.1
	冷凍水産物	363	91.1	355,216	102.2
	加工水産物	1,043	99.8	894,061	113.5
	冷凍食品	356	96.9	169,711	98.1
	小計	3,650	98.1	3,176,757	108.8
合計		18,662	96.4	6,924,016	104.5

平成26年・27年1月 開場日数 20日

## 新着図書案内

- ※町長選挙 奥田 英朗 著 文春文庫
- ※絶叫 葉真中 著 光文社
- ※クックパッドの冬レシピ 宝島社
- ※医者の嘘 石井 光 著 幻冬舎
- ※おかげさまで生きる 矢作 直樹 著 幻冬舎

## 場内一斉大掃除

3月17日（火）実施